注３ **大学番号：国０４９**

意見伺い

［平成２８年度設置］
計画の区分：研究科の専攻の設置
注１

三重大学大学院　医学系研究科　看護学専攻（Ｄ）
注２

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人　三重大学
平成28年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　企画総務部企画チーム法務室
職名・氏名　法務室長・岡部（オカベ）　立志（タツシ）
電話番号　０５９－２３１－９００７
（夜間）　０５９－２３１－９００７
ＦＡＸ　０５９－２３１－９７３４
ｅ－mail　homu@ab.mie-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

目次

医学系研究科

＜看護学専攻（博士後期課程）＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況，経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

国立大学法人　三重大学

（2）大　学　名

三重大学

（3）大学の位置

〒５１４－８５０７　三重県津市江戸橋２丁目１７４番地
（〒５１４－８５０７　三重県津市栗真町屋町１５７７）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（コマダ　ヨシヒロ） 駒　田　美　弘 （平成２７年４月１日）		
研究科長	（オガタ　マサト） 緒　方　正　人 （平成２５年４月１日）		
専 攻 長	（ハタシタ　ヒロヨ） 畑　下　博　世 （平成２７年４月１日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２６年度に報告済の内容　→（26）
平成２８年度に報告する内容　→（28）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。（入試区分ごとではありません）。
・　様式は，平成２６年度開設の博士後期課程の場合（平成２８年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
	年	人	人	
医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程） 博士（看護学）	3	3	9	基礎となる学部等 医学部看護学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	３人 （－） [－]	－人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.00倍	
志願者数	5 （5） [－]	－ （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
受験者数	5 （5） [－]	－ （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
合格者数	3 （3） [－]	－ （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
Ｂ　入学者数	3 （3） [－]	－ （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.00							

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・「社会人」については，設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

学　年＼報告年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] （ － ） 3	[－] （ － ） －	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　]	[　　]	
２年次			[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	
３年次					[　　] （　　）	[　　] （　　）	
計	[　－　] （　－　） 3		[　　] （　　）		[　　] （　　）		

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成28年度入学者	3 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合　計	3 人	0 人					0 %

（注）・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）＞

（１） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	看護職生涯教育学特論	１前		2		1	1				兼３	オムニバス・共同（一部）
	高度実践基礎看護学特論	１前		2		2	1				兼３	オムニバス・共同（一部）
	成熟期看護学特論	未開講 ~~１前~~		2		1	4				兼３	履修希望者がいなかったため（28） オムニバス・共同（一部）
	母子看護学特論	未開講 ~~１前~~		2		2	1				兼３	履修希望者がいなかったため（28） オムニバス・共同（一部）
	精神・ストレス健康科学特論	未開講 ~~１前~~		2		1	2				兼３	履修希望者がいなかったため（28） オムニバス・共同（一部）
	地域看護学特論	１前		2		1	2				兼３	オムニバス・共同（一部）
	看護職生涯教育学演習	１後		2		1	1					共同
	高度実践基礎看護学演習	１後		2		2	1					共同
	成熟期看護学演習	未開講 ~~１後~~		2		1	4					履修希望者がいなかったため（28） 共同
	母子看護学演習	未開講 ~~１後~~		2		2	1					履修希望者がいなかったため（28） 共同
	精神・ストレス健康科学演習	未開講 ~~１後~~		2		1	2					履修希望者がいなかったため（28） 共同
	地域看護学演習	１後		2		1	2					共同
	後期看護学特別研究	１～３通	8			8	9					
	小計（１３科目）	－	8	２４	0	8	１１	0	0	0	兼３	
共通科目	看護学研究方法論	１前	2			8	1				兼１	オムニバス・共同（一部）
	保健医療統計論	１後	2				1					
	小計（　２科目）	－	4	0	0	8	2	0	0	0	兼１	
合計（１５科目）		－	１２	２４	0	8	１１	0	0	0	兼３	

（注）・　設置計画書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度設置以前）についても，設置時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 12	科目 0	科目 15	科目 3 [0]	科目 12 [0]	科目 0 [0]	科目 15 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	（該当なし）					
2						
3						

（注） ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	（該当なし）					
2						
3						

（注） ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（該当なし）

（注） ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注） ・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	381,004 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	381,004 ㎡	
	運動場用地	83,676 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	83,676 ㎡	
	小　計	464,680 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	464,680 ㎡	
	その他	63,360 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	63,360 ㎡	
	合　計	528,040 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	528,040 ㎡	
(2) 校　舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
		169,982 ㎡ (169,982㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	169,982 ㎡ (169,982㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	109 室	95 室	123 室	12 室 （補助職員　0人）	3 室 （補助職員　0人）	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	備考
	医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）	23　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）	40,333〔20,360〕 (40,333〔20,360〕)	1,137〔753〕 (1,137〔753〕)	15,415〔14,844〕 (15,415〔14,844〕)	678 (678)	1,587 (1,587)	86 (86)	医学部全体 （電子ジャーナルは大学全体の数）
	計	40,333〔20,360〕 (40,333〔20,360〕)	1,137〔753〕 (1,137〔753〕)	15,415〔14,844〕 (15,415〔14,844〕)	678 (678)	1,587 (1,587)	86 (86)	

(6) 図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	8,276 ㎡	741	709,000	大学全体

(7) 体育館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	4,339 ㎡	陸上競技場，野球場，サッカー・ラグビー場，テニスコート，プール，ハンドボール場　他	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	－ 千円	－ 千円	図書購入費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	国費による
	共同研究費等	－ 千円	－ 千円	設備購入費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	－

（注）・　設置時の計画を，設置計画書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２８年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

４　既設大学等の状況

大学の名称	三重大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部			3年次			1.06		三重県津市栗真町屋町1577	
文化学科	4	100	10	420	学士（人文科学）	1.05	昭和５８年度		
法律経済学科	4	165	20	700	学士（法律経済）	1.07	昭和５８年度		
教育学部						1.05		三重県津市栗真町屋町1577	
学校教育教員養成課程	4	200	—	705	学士（教育学）	1.05	平成　９年度		
情報教育課程	4	—	—	—	学士（教育学）	—	平成　２年度		平成26年度より学生募集停止（情報教育課程・生涯教育課程）
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（教育学）	—	平成　９年度		
人間発達科学課程	4	—	—	—	学士（教育学）	—	平成１１年度		平成28年度より学生募集停止（人間発達科学課程）
医学部						1.00		三重県津市江戸橋2丁目174	
医学科	6	125	—	750	学士（医学）	1.00	昭和４７年度		
看護学科	4	80	10	340	学士（看護学）	1.00	平成　９年度		
工学部						1.03		三重県津市栗真町屋町1577	
機械工学科	4	80	10	340	学士（工学）	1.06	平成　３年度		
電気電子工学科	4	80	10	340	学士（工学）	1.03	平成　３年度		
分子素材工学科	4	100	—	400	学士（工学）	1.02	平成　２年度		
建築学科	4	40	10	180	学士（工学）	1.07	昭和５５年度		
情報工学科	4	60	—	240	学士（工学）	1.00	平成　元年度		
物理工学科	4	40	—	160	学士（工学）	1.06	平成　９年度		
生物資源学部						1.06		三重県津市栗真町屋町1577	
資源循環学科	4	70	—	260	学士（生物資源学）	1.04	平成１２年度		
共生環境学科	4	70	—	310	学士（生物資源学）	1.07	平成１２年度		
生物圏生命科学科	4	100	—	390	学士（生物資源学）	1.06	平成１２年度		
（学科共通）			10	20					
人文社会科学研究科						0.96		三重県津市栗真町屋町1577	
地域文化論専攻	2	8	—	16	修士（人文科学）	0.81	平成　４年度		
社会科学専攻	2	7	—	14	修士（社会科学）	1.14	平成　４年度		
教育学研究科						0.69		三重県津市栗真町屋町1577	
教育科学専攻	2	41	—	82	修士（教育学）	0.69	平成２４年度		
医学系研究科						0.98		三重県津市江戸橋2丁目174	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学）	0.49	平成１３年度		
看護学専攻	2	11	—	27	修士（看護学）	0.79	平成１４年度		
看護学専攻	3	3	—	3	博士（看護学）	1.00	平成２８年度		
生命医科学専攻	4	45	—	180	博士（医学）	1.05	平成１５年度		

工学研究科						0.87		三重県津市栗真町屋町1577	
機械工学専攻	2	50	—	100	修士（工学）	1.08	平成　７年度		
電気電子工学専攻	2	45	—	90	修士（工学）	1.00	平成　７年度		
分子素材工学専攻	2	55	—	110	修士（工学）	1.14	平成　７年度		
建築学専攻	2	20	—	40	修士（工学）	0.97	平成　７年度		
情報工学専攻	2	28	—	56	修士（工学）	0.78	平成　７年度		
物理工学専攻	2	18	—	36	修士（工学）	1.05	平成１３年度		
材料科学専攻	3	6	—	18	博士（工学）	0.88	平成　７年度		
システム工学専攻	3	10	—	30	博士（工学）	0.50	平成　７年度		
生物資源学研究科						0.94		三重県津市栗真町屋町1577	
資源循環学専攻	2	23	—	46	修士（生物資源学）	1.16	平成１６年度		
共生環境学専攻	2	26	—	52	修士（生物資源学）	0.97	平成１６年度		
生物圏生命科学専攻	2	39	—	78	修士（生物資源学）	1.16	平成１６年度		
資源循環学専攻	3	4	—	12	博士（学術）	1.00	平成１８年度		
共生環境学専攻	3	4	—	12	博士（学術）	0.66	平成１８年度		
生物圏生命科学専攻	3	4	—	12	博士（学術）	1.25	平成１８年度		
地域イノベーション学研究科						1.13		三重県津市栗真町屋町1577	
地域イノベーション学専攻	2	10	—	20	修士（学術）	1.15	平成２１年度		
地域イノベーション学専攻	3	5	—	15	博士（学術）	1.06	平成２１年度		

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２８年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜医学系研究科　看護学専攻（博士後期課程）＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	林　智子	平成28年４月	看護職生涯教育学特論※ 看護職生涯教育学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	今井　奈妙	平成28年４月	高度実践基礎看護学特論※ 高度実践基礎看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	成田　有吾	平成28年４月	高度実践基礎看護学特論※ 高度実践基礎看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	辻川　真弓	平成28年４月	成熟期看護学特論※ 成熟期看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	新小田春美	平成28年４月	母子看護学特論※ 母子看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	仁尾かおり	平成28年４月	母子看護学特論※ 母子看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	小森　照久	平成28年４月	精神・ストレス健康科学特論※ 精神・ストレス健康科学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	教授	畑下　博世	平成28年４月	地域看護学特論※ 地域看護学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	准教授	井村　香積	平成28年４月	看護職生涯教育学特論※ 看護職生涯教育学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	福録　恵子	平成28年４月	高度実践基礎看護学特論※ 高度実践基礎看護学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	吉田　和枝	平成28年４月	成熟期看護学特論※ 成熟期看護学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	竹内佐智恵	平成28年４月	成熟期看護学特論※ 成熟期看護学演習※						
専	准教授	坂口　美和	平成28年４月	成熟期看護学特論※ 成熟期看護学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	平松万由子	平成28年４月	成熟期看護学特論※ 成熟期看護学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	村端真由美	平成28年４月	母子看護学特論※ 母子看護学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	磯和　勅子	平成28年４月	精神・ストレス健康科学特論※ 精神・ストレス健康科学演習※ 後期看護学特別研究 看護学研究方法論※						
専	准教授	片岡　三佳	平成28年４月	精神・ストレス健康科学特論※ 精神・ストレス健康科学演習※ 後期看護学特別研究						
専	准教授	谷村　晋	平成28年４月	地域看護学特論※ 地域看護学演習※ 後期看護学特別研究 保健医療統計論						

専	准教授	西出（黒部）りつ子 （58）	平成28年４月	地域看護学特論※ 地域看護学演習※						
兼担	教授	矢野　竹男	平成28年４月	看護職生涯教育学特論※ 高度実践基礎看護学特論※ 成熟期看護学特論※ 母子看護学特論※ 精神・ストレス健康科学特論※ 地域看護学特論※ 看護学研究方法論※						
兼担	教授	堀　浩樹	平成28年４月	看護職生涯教育学特論※ 高度実践基礎看護学特論※ 成熟期看護学特論※ 母子看護学特論※ 精神・ストレス健康科学特論※ 地域看護学特論※						
兼担	教授	島岡　要	平成28年４月	看護職生涯教育学特論※ 高度実践基礎看護学特論※ 成熟期看護学特論※ 母子看護学特論※ 精神・ストレス健康科学特論※ 地域看護学特論※						

（注）・　設置計画書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇研究科　〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２８年５月１日現在の満年齢を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。
・　「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（２） 専任教員数等

（２）－①　専任教員数

設　置　時　の　計　画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
8 (8)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	8	11	0	0	19	8 [0]	11 [0]	0 [0]	0 [0]	19 [0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
8 (8)	9 (9)	2 (2)			8	9	2			8 [0]	9 [0]	2 [0]		

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－②　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 （特例等による定年年齢ではありません），および，平成２８年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数 を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
・専門職大学院の場合は，「研究指導教員」を「研究者教員」と，「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		（該当なし）				
2						

合計（A）		後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
（該当なし）　人				

（注）・　設置時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		（該当なし）				
2						

合計（C）		後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
（該当なし）　人				

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・　「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）		後任補充状況の集計（B）＋（D）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
（該当なし）　人				

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。
・　「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（該当なし）

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （平成27年8月）	博士後期課程において１領域に統合することによって、看護学の専門性をどのように向上させるのか。教育方法のみならず、教育課程においても俯瞰的視野を身につけさせることが適切に担保されるよう、教育内容の充実に努めること。	留意事項	１領域に統合することにより，看護学の全体像を捉え，多領域との柔軟な協働が可能となることから，２８年度入学生に対しては，各分野の教員が共同する授業（看護学特別研究）を必修として受講させている。加えて，他分野の授業を積極的に受講させ，分野横断的に知識を習得させている。これにより看護学の専門性の向上を図っている。 　また，専門性の向上に加え，俯瞰的視野を身に付けることができるよう，学生に地域イノベーション学の講義の聴講を義務づけている。 　今年度は，「地域新創造マネジメント特論Ｉ」を受講させ，課題の発見とその解決方法を身につけるために，産学・産学官共同研究の手法を学ばせている。 　今後さらに，より実用的かつ創造的に俯瞰的な視野を身に付けるため，看護学専攻博士専門委員会を中心に現行の教育体制の検証等を行い，教育課程の見直しを図っていく。(28)	

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

７　その他全般的事項

＜医学系研究科　看護学専攻（博士後期課程）＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
（該当なし）	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
・　「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・看護学専攻博士専門委員会（以下「博士専門委員会」）【別添：医学系研究科専門委員会内規】
・看護学専攻・看護学科ＦＤ委員会（以下「ＦＤ委員会」）
・看護学専攻大学院委員会（以下「大学院委員会」）
・三重看護学誌編集委員会（以下「ＭＮＪ委員会」）
＊ＦＤ委員会，大学院委員会，ＭＮＪ委員会に係る規程等は定めていない。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・博士専門委員会：2回（4月6日［構成員22人中22人出席］，4月27日［構成員22人中21人出席］）
毎月第1水曜日に定例開催予定。（5月においては，第1水曜日が祝日のため4月に2回開催）
・ＦＤ委員会：2回（4月7日［構成員8人中7人出席］・4月28日［構成員8人中8人出席］）
毎月1回と，イベント時に随時開催予定。
・大学院委員会：1回（4月20日開催［構成員10人中9人出席］）
毎月第4水曜日に定例開催予定。（4月においては，第3水曜日に開催）
・ＭＮＪ委員会：1回（4月18日開催［構成員6人中6人出席］）
年間6回開催予定。

ｃ　委員会の審議事項等

・博士専門委員会では，看護学専攻における教育課程，教員人事，学生の厚生補導，学生の在籍（入退学等），単位認定及び修了，学位，教育研究に関する事項について審議・検討している。
・ＦＤ委員会では，ＦＤ活動方針をもとに，ＦＤ学習会や教員研修会など教員の教育実践能力の強化に係る方策の計画，学生と教員の交流の促進策等を検討している。
・大学院委員会では，ＦＤ担当委員や研究交流会担当委員を配置し，ＦＤ委員会と連携して研究交流会など研究・教育能力の向上に係る活動の企画立案を行っているほか，学生に対する授業評価アンケートの実施方法について検討している。
・ＭＮＪ委員会では，三重看護学誌の編纂を通じて得られた教員の研究活動実績を分析し，改善・向上策について検討を行っている。

②　実施状況

ａ　実施内容

・研究・教育能力の向上を図るために，研究交流会を実施予定
・他学部等の教育実践に係る取組や工夫及びその効果を学ぶために，ＦＤ学習会を実施予定

・他教員の教育実践を学び自身の参考とするために，公開授業を実施予定
・教育実践について学生の意見や評価を得るために，授業評価アンケートを実施予定

b　実施方法
・研究交流会：教員自身の研究発表及び意見交換（教員全員参加）
・ＦＤ学習会：他学部等の教員による講演及びグループ討議，講師との意見交換（教員全員参加）
・公開授業：他教員の授業を参観（希望者対象）
・授業評価アンケート：前期，後期それぞれで実施（実験，実習を除く学部・大学院の全授業科目）

c　開催状況（教員の参加状況含む）
・研究交流会：年１回（9月15日に開催予定）
・ＦＤ学習会：年３回（5月30日，6月6日又は6月13日，7月6日に開催予定）
・公開授業：当該科目担当教員と調整のうえ実施
・授業評価アンケート：年２回（前期１回・後期１回を予定）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
・今後，ＦＤ委員会及び大学院委員会を中心に検討する予定。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期
・現在，大学院委員会で検討中。

b　教員や学生への公開状況，方法等
・現在，大学院委員会で検討中。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

初年度における，設置の趣旨・目的の達成状況に関しては概ね順調であるといえるが，継続的に適切な管理・運営を履行していくため，今後も自己点検・評価を通じて課題の洗い出しと改善の実施に取り組んでいく。

②　自己点検・評価報告書

a　公表（予定）時期
・未定

b　公表方法
・未定

③　認証評価を受ける計画
・平成33年度受審予定

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ

いて記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） （ ２８年 ６月予定 ）

三重大学大学院医学系研究科専門委員会内規

（設置）

第１条　三重大学大学院医学系研究科の研究科教授会（以下「研究科教授会」という。）の円滑な運営を図るため三重大学大学院医学系研究科（以下「医学系研究科」という。）に専門委員会を置く。

（専門委員会）

第２条　専門委員会は，次のとおりとする。

一　生命医科学専攻博士専門委員会

二　医科学専攻修士専門委員会

三　看護学専攻博士専門委員会

（生命医科学専攻博士専門委員会）

第３条　生命医科学専攻博士専門委員会の構成員は，生命医科学専攻の専任教授及び医学部附属病院の専任教授とする。ただし，生命医科学専攻博士課程の教育を担当する大学教員を加えることができる。

２　生命医科学専攻博士専門委員会において審議する事項は，次のとおりとする。

一　教育課程に関する事項

二　研究科（附属病院の教授を含む。）担当教員に関する事項

三　学生の厚生補導に関する事項

四　入学，退学，休学，留学，除籍，懲戒等学生の在籍に関する事項

五　単位の認定及び修了に関する事項

六　学位に関する事項

七　その他生命医科学専攻博士課程の教育研究に関する事項

（医科学専攻修士専門委員会）

第４条　医科学専攻修士専門委員会の構成員は，生命医科学専攻の専任教授及び医学部附属病院の専任教授とする。ただし，医科学専攻修士課程の教育を担当する大学教員を加えることができる。

２　医科学専攻修士専門委員会において審議する事項は，次のとおりとする。

一　教育課程に関する事項

二　学生の厚生補導に関する事項

三　入学，退学，休学，留学，除籍，懲戒等学生の在籍に関する事項

四　単位の認定及び修了に関する事項

五　学位に関する事項

六　その他医科学専攻修士課程の教育研究に関する事項

（看護学専攻博士専門委員会）

第５条　看護学専攻博士専門委員会の構成員は，看護学専攻の専任教授とする。ただし，看護学専攻の教育を担当する大学教員を加えることができる。

２　看護学専攻博士専門委員会において審議する事項は，次のとおりとする。

一　教育課程に関する事項

二　研究科担当教員に関する事項

三　学生の厚生補導に関する事項

四　入学，退学，休学，留学，除籍，懲戒等学生の在籍に関する事項

五　単位の認定及び修了に関する事項

六　学位に関する事項
七　その他看護学専攻の教育研究に関する事項
３　前項に掲げる事項のうち大学教員の人事に関しては，専任の教授をもって審議する。
（議長）
第６条　専門委員会に議長を置き，生命医科学専攻博士専門委員会及び医科学専攻修士専門委員会にあっては医学系研究科長を，看護学専攻博士専門委員会にあっては看護学専攻長をもって充てる。
（成立）
第７条　専門委員会は，構成員の３分の２以上の出席により成立する。ただし，休職者，休業者，海外渡航者及び内地研究員は，構成員に算入しない。
（構成員以外の者の出席）
第８条　専門委員会が必要と認めたときは，構成員以外の者を出席させ，意見又は説明を聴くことができる。ただし，議決に加わることはできない。
（その他）
第９条　この内規に定めるもののほか，必要な事項は，専門委員会が定める。

附　則
この内規は，平成１７年４月１日から施行する。
附　則
この内規は，平成１７年１０月１２日から施行する。
附　則
この内規は，平成２３年３月９日から施行する。
附　則
この内規は，平成２５年９月１１日から施行する。
附　則
この内規は，平成２８年４月１日から施行する。
附　則
この内規は，平成２８年５月１１日から施行し，平成２８年４月１日から適用する。